

授業科目名	臨床運動性構音障害学 I	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	岡田 健太郎	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 運動性構音障害の評価～訓練プログラムの立案において、情報収集、検査・評価の臨床的意味や目的を理解する</p> <p>〔学習目標〕 障害の構造と検査・評価の意味、必要性を理解する 問題点の抽出と訓練へ繋げるための考え方を理解し実行できる</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	オリエンテーション				
第 2 回	問題点の捉え方・評価から訓練へ				
第 3 回	フリートーク				
第 4 回	検査結果のまとめ				
第 5 回	結果の解釈と考察 1				
第 6 回	結果の解釈と考察 2				
第 7 回	評価練習 I-1				
第 8 回	評価練習 I-2				
第 9 回	評価練習 II-1				
第 10 回	評価練習 II-2				
第 11 回	グループワーク 実技練習 1				
第 12 回	グループワーク 実技練習 2				
第 13 回	実技 1				
第 14 回	実技 2				
第 15 回	実技 3				
評価方法	実技試験60%、課題レポート40%				
教科書 参考図書	〔教科書〕 ディサースリアの基礎と臨床 第1巻、第2巻				
履修上の 留意点	検査の演習、レポート作成やグループワーク、ディスカッション等を行います。極力欠席しないよう、体調管理等に留意すること。				
メッセージ	検査の練習は授業時間外も活用して主体的に行ってください。				